

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	令和元年度 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	1. 市立幼保連携型認定こども園整備事業の推進	園舎の耐力・耐震度に課題のある大住幼稚園を認定こども園へ建て替え。地域子育て支援センターを併設し、北部地区の拠点施設とする	・大住幼稚園の認定こども園への移行に向けた基礎調査の実施 ・基本設計費の予算への計上 ・認定こども園の保育内容の検討		・大住幼稚園の改築・こども園化に向けて現園舎の耐力度調査を実施するとともに、基本構想を策定した。 ・基本設計費等を令和2年度当初予算に計上した。 ・市立こども園の運営・保育内容の検討を行った。	A	
	2. 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定	現行計画の終期が今年度末であることから、昨年度から第2期計画を策定作業を実施。今年度は、パブリックコメントを行い、年度末までに計画を策定する	・現行計画の評価 ・子ども・子育て会議からの意見聴取 ・ニーズと確保方策の検討 ・計画案の取りまとめ ・パブリックコメントの実施	17	・子ども・子育て会議において現行計画の評価を行った。 ・第2期子ども・子育て支援事業計画の案について、子ども・子育て会議の意見を聴取し、パブリックコメントを実施した。 ・第2期子ども・子育て支援事業計画を策定した。	A	
	3高まる保育ニーズへの対応と年度当初における待機児童の解消	年度当初に待機児童を発生させることのないよう、施設整備を行い必要な施設定員を確保する。また、今後の施設再編イメージの精度を高める	・民間事業者による認可保育園や小規模保育、企業主導型保育事業などの導入と現施設の再編イメージの検討	20	・三山木中央における幼保連携型認定こども園の整備運営事業者を選定した。 ・再編イメージを検討し、サマーレビューで協議を行った。	A	